

2018.11.19 作成

2019.1.17 修正

京都大学生協ショッピング

○ Windows 版の Office2019 の導入方法 (Mac 版は裏面参照)

(※ 2019 年 1 月現在、Office2019 は Windows10 Version1703 以降がサポートされています。)

■ インストール方法が MSI 形式から C2R 形式に変更されました

マイクロソフトより Office2019 がリリースされましたが、従来のインストーラー (MSI) 形式が廃止され、クイック実行 (C2R) 形式に変更されました。京都大学包括契約でのオンプレミス用 Office のインストールには、マイクロソフトが提供する Office 展開ツールを使用してインストールすることが必要となりました。

■ Office 展開ツールを使用し、インストールを実施する

Office 展開ツール (ODT) を使用するには、一定の知識が必要です。定義ファイル (.xml) を作成し、コマンドプロンプトから該当の定義ファイルを指定して、ODT を実行する必要があります。詳しくは以下のページをご確認ください。

□ 導入 Office 2019 (IT プロフェッショナル向け)

<https://docs.microsoft.com/ja-jp/deployoffice/office2019/deploy>

(定義ファイルを編集することで、日本語英語以外の言語のインストールを実施することができます)

■ 生協で用意した定義ファイルを使用してインストールを実施する

上記内容を実行するのは一定の技術レベルが必要かつ煩雑なため、生協でインストール定義ファイルを用意しました。ダウンロードサイトから入手できるファイルは、アーカイブされた圧縮ファイル(zip)です。

ファイル名 : Office2019\_[製品名].zip

このファイルを展開 (解凍) してください (展開しないとインストールを実行できません)。4 種類のバッチファイル(\*.bat)とフォルダ (application) が生成されます。バッチファイルはプラットフォーム別 (32bit/64bit)、言語別 (日本語/英語) の 4 種で、それぞれご希望の製品を実行してください。

application フォルダにはインストールに必要な Office 展開ツール (ODT) と定義ファイル各種が備わっています。

### ■ インストール時のご注意

インストールには安定したインターネット環境が必要です。LAN の環境にもよりますが、30~60 分程度の時間を要すると予めご留意ください。

### ■ ライセンス認証

インストールが無事完了した後、アプリケーションを立ち上げた時にライセンス認証が求められます。ライセンス確認書に記載している 25 文字のプロダクトキー (MAK キー) を入力してください。

### ■ 旧バージョンの製品がある場合のご注意 (MSI 形式と C2R 形式は併存できません)

Office2019 のインストールでは MSI 形式でインストールされた旧バージョンを自動的に削除する設定となっています。従って今回 Office2019 製品をセットアップするに際して、含まれないソフトウェアの旧バージョンは使用できなくなるので、ご注意ください。

例) Access2013 (MSI) がインストールされている端末で Office2019Standard をインストールすると、Access2013 はアンインストールされます。

### ○ Mac 版の Office2019/2016 のインストール方法

Office2019 (および 2016) は、最新バージョンを含む直近 3 バージョンをサポートします (2019 年 1 月時点で MacOS10.12 (Siera) 以降が対象)。インストール方法は、基本的には従来と変更はありません。ただし、ライセンス認証を行う Volume License Serializer の実行が必要となっており、これを含めて京大生協ダウンロードサイトで提供しています。

提供しているファイル構成は以下のとおりです。

Office2019 for Mac.zip

---- Microsoft\_Office\_16.19.18110915.pkg (インストーラー)

---- SWDVD5\_Office\_Mac\_Serializer\_2019\_MLF\_X21-88135.ISO (Serializer)

製品のインストール後、ISO ファイル内の Serializer を実行し、ライセンス認証を実行してください。

(参考) 前回からの変更点

- Windows 用インストール用ファイルを自己解凍式の圧縮ファイル (.exe) で提供しておりましたが、セキュリティソフトが反応するケースが多く、zip 形式での配布に変更しました。ユーザー様にて展開 (解凍) する必要がありますので、ご注意ください。
- 新形式 (C2R) のインストールの際、旧形式 (MSI) でインストールされた Microsoft Project や Microsoft Visio がアンインストールされる仕様となっていました。その後定義ファイルの既定でアンインストール対象から外すことができるようになりました。これらのソフトウェアが備わっている環境でも Office2019 をご利用いただけます。ただし旧バージョンの Office はアンインストールされます。

(2018.11.19 文書作成・2019.1.17 修正)